

大曲仙北広域市町村圏組合

公共施設等総合管理計画

～ 消防施設計画 ～



大曲仙北広域市町村圏組合

令和 6 年 5 月 策定

公共施設等総合管理計画
～ 個別施設計画 ～

目次

第1章 計画の概要

1. 計画の目的
2. 計画の位置づけ
3. 計画期間
4. 対象施設
5. 進行管理

第2章 施設の状態等

1. 施設の利用状況
2. 施設の維持管理費
3. 施設の状態
4. これまでの主な整備・改修状況

第3章 管理整備の方針

1. 管理整備に関する検討のこれまでの経緯
2. 対策の優先順位に関する基本的な考え方
3. 長寿命化の基本方針
4. 今後の整備方針と改修等スケジュール
5. 改修等の事業費と財源
6. フォローアップの実施

個別票

第1章 計画の概要

1. 計画の目的

全国の自治体では、これまでに建設された公共施設等が今後大量に大規模改修や建て替えの時期を迎えることから、その老朽化対策が大きな課題とされ、さらに人口減少により公共施設等の需要が変化することが想定されています。

一部事務組合である当組合における運営事業の大部分が、行政経費の中でも義務的経費に分類されますが、組合構成市町の財政のひっ迫、今後も見込まれる人口減、少子高齢化の進展などにより、当組合の公共施設等を取り巻く環境は一層厳しくなりつつある中、今後、建物の大規模改修や建て替え、設備等の更新が必要となってくることが予測されます。

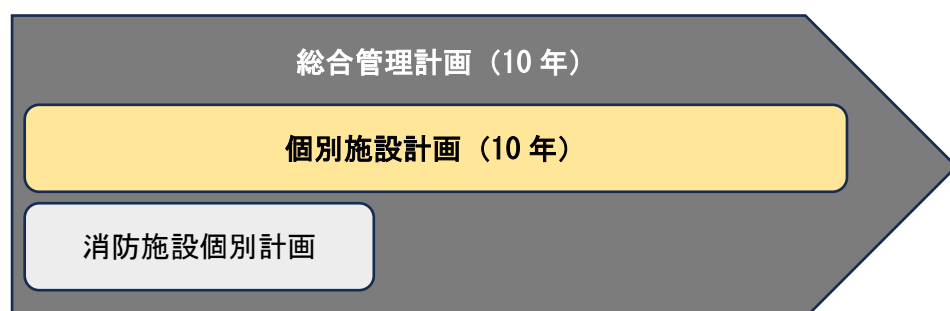
これらの課題を解決するためには、当組合の公共施設等の全体を把握し、長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化を計画的に行い、組合構成市町の財政負担の軽減・平準化を図り、効率的・効果的な行政サービスを提供しなくてはなりません。

そこで、総務大臣より各自治体に対し、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するための計画（公共施設等総合管理計画）の策定に取り組むよう、通知が発出されたことを受け、平成30年3月に当組合の公共施設等の計画的な管理及び最適な配置に関する基本的な方針を定めた「大曲仙北広域市町村圏組合公共施設等総合管理計画」（以下「総合管理計画」）を策定しました。

さらに令和3年1月には個別施設計画等を踏まえた公共施設等総合管理計画の見直しが求められたため、この度改めて「大曲仙北広域市町村圏組合消防施設計画」（以下「本計画」）を策定し、総合管理計画で示した基本的方針を具現化するべく、個別施設ごとに老朽化の状態や今後の方向性、方向性に伴う事業費などについてまとめ、将来に向けて、保有する公共施設等を有効活用しつつ、施設保有量の適正化や計画的な保全による施設の長寿命化を図る取組みの指針とするものです。

2. 計画の位置づけ

本計画は、公共施設等の更新、統廃合、長寿命化などの取組みに当たっての基本的な考え方である総合管理計画の下位に位置づけ、具体的な施設の整備方針を示すものであり、既存の消防施設個別計画を踏まえ、長期に施設の維持管理を推進するための計画です。



3. 計画期間

総合管理計画の計画期間は令和 6 年度から令和 15 年度までの 10 年間の計画期間としているため、本計画も令和 6 年度から令和 15 年度までの 10 年間を計画期間とし、以降、必要に応じて計画の見直しを行います。

4. 対象施設

本計画での対象施設は次のとおりです。

施設名	所在地	建築年度	延床面積	主体構造
消防本部・大曲消防署	大仙市大曲栄町 13-47		4,495.63 m ²	
庁舎		H30 年度	4,300.82 m ²	鉄骨造
訓練棟		H31 年度	194.81 m ²	鉄骨造
資材倉庫	大仙市大曲花園町 344-3	H15 年度	61.96 m ²	木造
大曲消防署南分署	美郷町佐野字倉合 172	H16 年度	604.46 m ²	鉄骨造
大曲消防署東分署	大仙市太田町三本扇字野沢 268-9		516.22 m ²	
庁舎		H13 年度	428.22 m ²	鉄骨造
訓練棟		H13 年度	88.00 m ²	鉄骨造
大曲消防署西分署	大仙市南外字坊田黒沢 152		785.12 m ²	
庁舎		H20 年度	659.36 m ²	鉄骨造
訓練棟		H20 年度	125.76 m ²	鉄骨造
大曲消防署西仙北分署	大仙市刈和野字上ノ台荒屋敷 134-42	H10 年度	356.35 m ²	木造
大曲消防署協和分署	大仙市協和上淀川字中嶋 17-1	H3 年度	345.32 m ²	木造
角館消防署	仙北市角館町西野川原 25-10		851.49 m ²	
庁舎		H3 年度	819.49 m ²	R C 造
訓練棟		H3 年度	32.00 m ²	鉄骨造
角館消防署田沢湖分署	仙北市田沢湖生保内字上清水 674	H5 年度	410.81 m ²	木造
角館消防署中仙分署	仙北市北長野字茶畑 96	H5 年度	348.79 m ²	木造
角館消防署西木分署	仙北市西木町桧木内字高屋 132-1	H7 年度	329.26 m ²	木造

5. 進行管理

①実施計画の作成

施設所管課は、今後 10 年間で実施しようとする改修・修繕等の内容について実施計画を作成し、予算編成担当課と協議します。

施設所管課は、実施計画全体の中から必要に応じて予算編成担当課及び管財担当課と協議の上、実施する改修・修繕等の内容について精査し、当該年度の予算要求について決定します。

また、組合構成市町担当課長会議等において、毎年ローリング方式により更新する 10 年間の主要事業（財政シミュレーション）について説明します。

②改修・修繕等の実施

実施計画及び当該年度の予算に基づき、施設所管課は工事に関する発注や計画の事務を行い、改修・修繕等を実施します。

③改修・修繕等の内容の記録、評価

竣工後は、施工内容について評価を行います。改修・修繕等の内容は施設管理台帳に記録し、個別施設計画の見直しの際に反映させます。

第2章 施設の状態等

1. 施設の利用状況

出動件数

(単位：件)

施設名	過去3力年			将来推計
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和15年度
消防本部・大曲消防署	2,142	2,360	2,483	2,200
大曲消防署南分署	634	760	823	700
大曲消防署東分署	601	686	664	610
大曲消防署西分署	408	467	502	430
大曲消防署西仙北分署	466	534	523	480
大曲消防署協和分署	426	435	446	410
角館消防署	849	1,034	1,124	950
角館消防署田沢湖分署	375	431	470	400
角館消防署中仙分署	617	709	712	640
角館消防署西木分署	195	250	241	200

2. 施設の維持管理費

施設維持管理費 [※]

(単位：千円)

施設名	過去3力年			将来推計
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和15年度
消防本部・大曲消防署	81,045	83,661	83,761	83,761
大曲消防署南分署	2,322	2,387	2,284	2,387
大曲消防署東分署	1,779	1,898	1,864	1,898
大曲消防署西分署	2,133	2,748	2,119	2,133
大曲消防署西仙北分署	1,739	1,800	2,053	2,053
大曲消防署協和分署	1,664	1,409	1,660	1,664
角館消防署	3,296	4,473	4,619	4,619
角館消防署田沢湖分署	1,829	1,826	1,637	1,829
角館消防署中仙分署	1,085	1,109	1,045	1,109
角館消防署西木分署	1,147	1,710	1,229	1,229

※施設改修費や設備更新費等を除く施設運営費。

3. 施設の状態

圏域内の消防防災活動拠点施設となる消防本部・大曲消防署は令和元年度の建設であり、また仙北市及び角館消防所管内の消防防災拠点施設である角館消防署は築後 30 年が経過していますが、令和 3 年度の大規模改修工事により長寿命化を図っています。

しかし各分署においては 20 年から 30 年が経過し、耐用年数を超えている施設もあるため、老朽化による建物や設備の破損や劣化が懸念されます。

施設名	耐用 年数	経過 年数	老朽化率 [※]	老朽化状況
消防本部・大曲消防署				
庁舎	38	5	13.2%	空調・給排水設備故障発生
訓練棟	38	4	13.2%	
資材倉庫	15	20	133.3%	
大曲消防署南分署	38	19	50.0%	屋根防水工事、外壁塗装工事施工
大曲消防署東分署				
庁舎	38	22	57.9%	軒天破損、給水設備故障発生
訓練棟	38	22	57.9%	
大曲消防署西分署				
庁舎	38	15	39.5%	屋根劣化
訓練棟	38	15	39.5%	
大曲消防署西仙北分署	24	25	104.2%	屋根劣化
大曲消防署協和分署	24	32	133.3%	空調設備故障、水道管漏水発生
角館消防署				
庁舎	50	32	64.0%	大規模改修工事施工
訓練棟	38	32	84.2%	
角館消防署田沢湖分署	24	30	125.0%	屋根・外壁塗装工事施工、建物歪み
角館消防署中仙分署	24	30	125.0%	老朽化顕著
角館消防署西木分署	24	28	116.7%	老朽化顕著

※老朽化率＝経過年数÷耐用年数×100（令和 6 年 3 月 31 日時点）

4. これまでの主な整備・改修状況

最近の主な整備・改修状況（総事業費 1,300 千円以上の主な事業）

事業名（年度）	角館消防署田沢湖分署外壁・屋根塗装工事（令和 4 年度）
対象施設	角館消防署田沢湖分署
事業内容	老朽化により外壁及び屋根の塗装の劣化が著しく、建物基礎部分まで腐食が進む可能性が高まっていたため改修工事を実施するもの。
総事業費（財源）	5,366,900 円（財源：一般財源）

事業名（年度）	大曲消防署西仙北分署屋根改修工事（令和 4 年度）
対象施設	大曲消防署西仙北分署
事業内容	経年劣化による屋根のゆがみにより排水できない箇所に腐食が生じ、屋根の全体的な改修が必要となったため改修工事を実施するもの。
総事業費（財源）	3,839,000 円（財源：一般財源）

事業名（年度）	角館消防署大規模改修工事（ガレージ等新設工事含む）（令和 3 年度）
対象施設	角館消防署
事業内容	耐用年数を 60 年とするため、築後 30 年目で電気、機械設備を改修、その他建具の改修等を実施し長寿命化を図るもの。
総事業費（財源）	106,425,000 円（財源：一般財源）

事業名（年度）	大曲消防署協和分署増築工事（令和 2 年度）
対象施設	大曲消防署協和分署
事業内容	翌年度から勤務体制を増員することに伴い増築工事を実施するもの。
総事業費（財源）	11,023,100 円（財源：一般財源）

事業名（年度）	大曲消防署南分署外壁塗装工事（令和 2 年度）
対象施設	大曲消防署南分署
事業内容	外壁塗装の劣化が著しく、雨水の浸入等発生の恐れがあり、改修工事を実施するもの。
総事業費（財源）	4,785,000 円（財源：一般財源）

第3章 管理整備の方針

1. 管理整備に関する検討のこれまでの経緯

平成30年3月に「大曲仙北広域市町村圏組合消防施設整備計画（公共施設等総合管理計画消防施設個別計画）」を策定し、消防庁舎のみならず、消防サービス面、財政面のいずれの観点からも重要性が高い通信指令施設、消防車両、消防資機材、通信装置、消防救急無線等についても、更新、統廃合、長寿命化などの取組に当たっての具体的な考え方と今後の計画を示しています。

2. 対策の優先順位に関する基本的な考え方

耐用年数が経過し、老朽化率が高い施設を基本とし、施設の稼働率が高く、施設利用者が多い等、利用者に対する影響度がより大きい施設から順に改修・修繕等を行うこととします。

整備する対象の選定にあたっては、利用者の安全安心を確保するため、施設（建物・設備）の損傷・劣化等に対する修繕・改修を第一優先とし、次に利用者に対する利便性の確保、次いでバリアフリー対策（トイレ洋式化、手すり設置）等とします。

施設全般が老朽化していることもあり、緊急工事等も懸念されるため、優先順位によらないことも想定されます。

3. 長寿命化の基本方針

今後も活用していく施設は、その役割や機能、特性に合わせた対策方法や優先順位を決定し、重大な損壊等が生じる前に予防的修繕を実施することにより、長寿命化を図ることで更新需要を分散します。

4. 今後の整備方針と改修等スケジュール

消防庁舎の場合、目標耐用年数については、24 時間常時使用による影響、法定耐用年数などを考慮した場合、鉄筋コンクリート造については 50 年、鉄骨造については 40 年が望ましいと考えられます。また、合併前の旧市町村単位で建設された消防分署は、木造建築物であり、法定耐用年数は 24 年とされていることから 30 年が望ましいと考えられます。

ただし、組合構成市町における財政状況を考えると、目標耐用年数経過後に一律更新という考え方は現実的ではないため、財政負担の平準化と施設の長寿命化を基本に、現在又は将来の消防需要を見極めながら、最も効果的な方法で施設を管理していく必要があります。

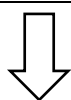
これらのことから、今後の消防庁舎の更新・整備に当たっては、目標耐用年数から最長 10 年間程度の長寿命化を行い、建設時期の平準化を図ることとします。また、各地域の防災拠点であることから、更新時には、法定耐用年数の長い鉄筋コンクリート造または鉄骨造で整備することとします。

さらに、当組合消防本部が今後整備する消防庁舎については、最低限必要な機能として以下の基本性能を備えることとし、既存の消防庁舎についても同等の基本性能を有するよう最大限に努めることとします。

【消防庁舎の基本性能】

- ① 地震災害及び風水害時等において災害応急対策の拠点としての機能を適切に発揮するため、十分な耐震性を有し、かつ、浸水による被害に耐え得るよう整備するものとします。
- ② 地震災害及び風水害時等において災害応急対策の拠点としての機能を適切に発揮するため、非常用電源設備等を設置するものとします。
- ③ 現状で訓練施設が整備されている庁舎のほか、小隊としての火災防御能力向上のため、地域実情に合わせ 2 階建て 1 棟火災を想定し訓練を行うための施設を、ホース乾燥塔と一体として整備するものとします。
- ④ 建物の更新時の面積は、現状の統合分署の面積等をベースとし、勤務人員、配備車両台数等に応じて増減させるものとします。

施設名	方向性	行動計画	管理方法	説明
消防本部・大曲消防署	存続	現状維持	直営	築後間もない
大曲消防署南分署	存続	大規模改修	直営	築後 25 年目に長寿命化改修
大曲消防署東分署	存続	大規模改修	直営	築後 25 年目に長寿命化改修
大曲消防署西分署	存続	大規模改修	直営	築後 25 年目に長寿命化改修
大曲消防署西仙北分署	存続	現状維持	直営	築後 41 年目に更新
大曲消防署協和分署	存続	更新	直営	築後 40 年目に更新
角館消防署	存続	現状維持	直営	築後 60 年目に更新
角館消防署田沢湖分署	存続	更新	直営	築後 40 年目に更新
角館消防署中仙分署	存続	現状維持	直営	築後 41 年目に更新
角館消防署西木分署	存続	現状維持	直営	築後 42 年目に更新



施設名	今後のスケジュール									
	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
大曲消防署西分署	補修									
大曲消防署東分署			改修							
大曲消防署南分署						改修				
大曲消防署協和分署								更新		
大曲消防署西分署										改修
角館消防署田沢湖分署										更新

※消防庁舎の場合、庁舎機能を停止することができない、また、大規模修繕により構造体の修繕を実施することは現実的ではないため、空調機械設備、電気設備、外壁改修等の大規模改修を実施し、防災拠点の機能維持及び強化を図る。

5. 改修等の事業費と財源

施設名	事業年度	事業費 (千円)	事業内容	財源 (千円)
大曲消防署西分署	R6	8,096	屋根塗装防水工事	一般財源 (8,096)
大曲消防署東分署	R8	69,690	大規模改修工事	一般財源 (69,690)
大曲消防署南分署	R11	76,916	大規模改修工事	一般財源 (76,916)
大曲消防署協和分署	R13	321,300	移転建替工事	一般財源 (321,300)
大曲消防署西分署	R15	89,014	大規模改修工事	一般財源 (89,014)
角館消防署田沢湖分署	R15	364,500	建替工事	一般財源 (364,500)

※事業費等は、調査・設計の結果を受けて変動する場合があります。

10 年後（令和 15 年度）の施設状況比較

総延床面積	
現在	10 年後（R15 年度）
9,105.42 m ²	9,200.00 m ²

維持管理コスト	
現在 [※]	10 年後（R15 年度）
101,110 千円	102,682 千円

施設改修・設備更新コスト	
現在 [※]	10 年後（R15 年度）
144,016 千円	1,256,908 千円

※令和 3 年度から令和 5 年度までの 3 カ年平均

◇施設の方向性等の説明

方向性	行動計画	説明
存続	現状維持	現状のまま維持
	大規模改修	長寿命化等のため、建物を全面的に改修
	一部改修	長寿命化等のため、建物の一部を改修
	多機能化	分類の違う別の目的の施設の機能を取り入れる
	集約化	同じ目的の複数の施設を一つに集約
	広域化	他自治体と施設を共用し、コストを分担
	更新	老朽化等のため、建物を更新
廃止	民間移譲	民間事業者等へ譲渡（売却、貸与等）
	転用	施設機能を廃止し、多用途へ転用
	地域移管	利用が地域に限定されている場合、地域へ移管
	除却（廃止）	施設を解体、除却し、機能も廃止

◇施設の方向性等の説明

管理方法		説明
直営		組合の直営 (個別の業務ごとに私法上の契約で委託する方式を含む)
民間委託	指定管理	指定管理者による管理運営方式
	長期包括運営委託	施設の運営を長期間かつ包括的に委託する方式
	P F I など	公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う方式

6. フォローアップの実施

計画を着実に推進していくため、P D C Aサイクルにより評価、見直しを行いながら進捗管理をしていきます。

計画 計画の策定

実行 計画に基づく施設管理の実施

評価 計画の状況把握、課題の抽出

改善 評価を踏まえた改善策の検討、
時期方針の決定

